

宝塚少年少女合唱団 秋のコンサート開催 ベガ・ホール コロナ禍以降初のコンサート

芦屋合唱協会会長 合唱指揮者 西牧 潤

♪ さあ、みんなで!!...未来を旅するハーモニー
♪ 小・中・高校生のステージ...わたあめ、アポロンの竖琴
♪ 『思い出のステージ』...怪獣のパラード、ほらね、

第34回宝塚少年少女合唱団卒団演奏会
秋のコンサート
2020.9.6(日) 14:00~
宝塚ベガ・ホール ¥500

マスクをご着用ください。当日体調にご不安のある方はご無理なさらないようお願いいたします。

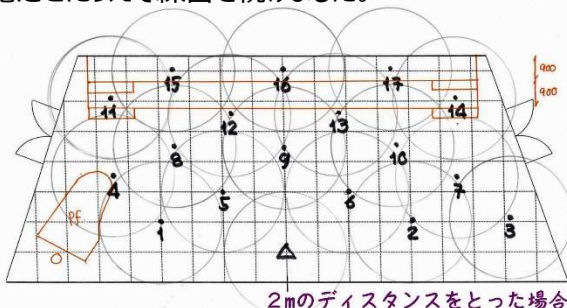
問い合わせ：宝塚ベガ・ホール 0797-84-6192

《主催》宝塚少年少女合唱団、(公財)宝塚市文化財団

《後援》宝塚市、宝塚市教育委員会、宝塚市国際交流協会、兵庫県合唱連盟、宝塚合唱連盟

私たち宝塚少年少女合唱団は、定期演奏会(4月)と秋のコンサート(9月)を活動の柱にしています。秋のコンサートは、卒団していく高校3年生の団員にとって最後のコンサートでもあり、定期演奏会以上に力が入ります。

そこへやってきた新型コロナウイルス。私たちはこの状況下で本当に安全にコンサートが開けるのか、検討を重ねました。その結果、考えられる感染症予防の対策を講じたうえで実施しようというものでした。ここは学校ではありませんので、そういう意味での縛りはありませんが、何かあった時に学校が守ってくれることはありません。自分たちで守らなければなりません。そのうえで、通常よりも厳しめのガイドラインを設け、合唱団の子どもたちにも自己の健康管理には注意させたうえで練習を続けました。



コンサート会場になる宝塚ベガ・ホールは国際合唱コンクールも行われる合唱のメッカでもあります。このコンサートはコロナ禍以降の最初の合唱のコンサートにもなります。

2メートルのディスタンスを取った上でステージに乗れるメンバーは17名。これ以内だとマスク等は不要と判断しました。ただ、私たちのメンバーは60名ですので、ほとんどはマスク着用での演奏になります。マスク着用による演奏の弱点は演奏者からの表情などの情報のほとんどが消されてしまうことです。そこをどう乗り越えられるか、が大きな課題です。

一方で、子どもたちの苦勞も察して、保護者のみなさんが手作りですぐのしやすいマスクを工夫し作っていただきました。

いろいろな人たちの思いや愛が詰まった、宝塚少年少女合唱団の秋のコンサートが9月6日(日)14時に宝塚ベガ・ホールで幕を開けます。どんなコンサートになったか、それはまたご報告したいと思います。



【宝塚少年少女合唱団とは】

1975年発足。年1回の定期演奏会ほか、夏の卒団生のためのコンサート、合唱祭など年間20回以上の演奏活動をしている。今までに韓国・台北・アメリカ・カナダ・フィンランド・中国・ハンガリー・ロシアで演奏。青島広志、千原英喜、松下耕などへの委嘱活動にも力を注いでいる。小学校1年から高校3年まで80名で構成。団長は山岡信章、指導・指揮は笠原美保、西牧潤、ピアニスト小林美都、友金美和。

西牧 潤 プロフィール

甲南大学理学部応用物理学卒業。指揮を小林研一郎、斉田好男の両氏に師事。合唱団ボイスフィールド、宝塚少年少女合唱団、甲南大学グリークラブ、神戸ポートシンガーズ指揮者、オペラの指揮、オーケストラを伴う合唱作品の演奏、メサイア、第九やオペラなどの副指揮、合唱指揮など、合唱にとどまらない幅広い演奏活動を目指している。芦屋合唱協会会長。JCDA日本合唱指揮者協会会員。クワール、KG合唱の会など。平成指揮者十人の会、21世紀の合唱を考える会合唱人集団『音楽樹』同人。